

# 雜 錄

大東亞戰爭日記摘要……………	185
新刊雜誌記載參考記事目次……………	185

## 大東亞戰爭日記摘要

- 12月12日 陛下親しく受受大神宮及び皇大神宮に御拜らせられ、戦勝を御祈願あらせ給ふ。
- 12月21日 汪精衛主席來訪、東條首相始め要路と懇談、征戰完遂へ日華提携愈々同生共死を強化す。
- 12月15日正午 大本營發表 緬甸方面陸軍航空部隊は12月5日及び10日英領印度「チッタゴン」港を攻撃し、イ、飛行機撃墜10機(内不確実なるもの3機)ロ、船舶撃沈7隻、大中破10隻、炎上4~5隻ハ、陸上施設停車場及び埠頭、倉庫に直撃弾8、列車炎上1、の大なる損害を與へた、我方の損害未だ歸還せざる飛行機2機。
- 12月15日 天皇陛下には今般産業經濟代表者懇談會に出席の首相以下政府代表者並に全國の各産業、經濟、金融の代表者385名を宮中に召され列立拜謁の光榮に浴せしめられた。
- 12月15日 午後3時30分大本營發表、ニウギニヤ島方面帝國海軍航空部隊は11月24日以来12月8日迄に同島東部ブナ附近に於て敵機44を撃墜し、敵哨戒艇2隻及輸送船2隻を撃沈した、此の間我方の自爆又は未歸還機9機。
- 12月28日 午後5時大本營發表 帝國海軍戦闘機隊は12月23日ガダルカナル島方面より飛來せる敵20數機をニウジョニア島ムンダ上空に邀撃その14機(内不確実6機)を撃墜せり、——グラマン戦闘機6(内不確実2)、カーチス艦上爆撃機7機(内不確実4)、P-381機。
- 本航空戦に於ける我方の損害自爆又は未歸還機2機。

## 昭和18年

- 1月12日 午後5時大本營發表 帝國陸軍航空部隊は南太平洋方面に於て優勢なる敵と交戦しつゝ我地上作戦及び海上輸送に協力中なり、昨年12月末より現在までの戦果次の如し。
- (1) 敵飛行機に與へたる損害 撃墜34、地上撃破3。
- (2) 我方の損害 自爆及び未だ歸還せざるもの10。

## 新刊雜誌記載參考記事主題

<b>日滿支石炭時報</b> 第31號 昭和17年11月	
戦時下の比律賓に於ける工業燃料	溪 崎 生 18
西支那六省の石炭	北京地質調査所 22
<b>日本鑛業會誌</b> 第58卷第692號 昭和17年12月	
銅製鍊鋳の利用更生に就て	伊藤茂太郎 791
鐵鋼と稀有金屬元素	谷村 潔 791
<b>全ハガネ商聯盟</b> 第5卷第1號 昭和18年1月	
特殊鋼統制の回顧と展望	山田 滿 2
特殊鋼業充實に朝野の猛省を促す	渡邊 三郎 4
米國鐵鋼業の解剖	大賀與志次 14
英領各地の鐵鋼事情	和田 友藏 22

特許抄録……………	187
業界雜報……………	191

七尾ニッケル鐵工場見學記	露 木 生 32
<b>中島研究報告</b> 第7卷第3號	
中空弁用鋼の研究(第1報)	遠藤 太郎 155
<b>金屬</b> 第13卷第1號 昭和18年1月	
ニッケル節約鋼の各種性質の調査	關口 次郎 3
窒素を含む高クロム・マンガン鋼	下川 義雄 17
代用鋼材の實用に就て	高瀬 孝次 41
代用鋼の質量效果	66
<b>マツダ研究時報</b> 第17卷第12號	
鋼管磁氣探傷に關する二三の實驗	須田 春雄 674
<b>東京工業大學々報</b> 第11卷第8號	
磁化鐵の壓縮力	竹内 時男 267
<b>日本化學總覽</b> 第2集第16卷第11號 昭和17年11月	
冶金、金相學、金屬加工	1382
<b>工業國策</b> 第5卷第12號 昭和17年12月	
米國鐵鋼業の脆弱點を衝く	市川 弘勝 42
ワナヂウム製鍊の重要性と自給策	大河平光雄 48
<b>燃料協會誌</b> 第21卷第242號 昭和17年11月	
石炭の合理的使用に就ての體驗	吉崎仁三郎 1110
<b>採鑛冶金</b> 第20年第12報	
鐵鋼中に於ける諸元素の擴散に就て	杉本 一夫 473
<b>神鋼</b> 第6卷第24號 昭和17年12月	
低合金鋼の低温脆性に就て	高尾善一郎 93
	土屋 秀介
<b>技術評論</b> 第19卷第12號 昭和17年12月	
鐵鋼増産の基本問題 番場恒夫・海野三朗・湯川正夫	10
<b>日立評論</b> 第25卷第12號 昭和17年12月	
擴管作用による鋼板穿孔部の應力分布	覺前 睦夫 733
表面硬さメータに就て	小坂誠市郎 749
可鍛鑄鐵製繼手の中子砂に對する一考察	金田 宣 783
	新田 外雄
<b>電氣製鋼</b> 第18卷第12號	
一酸化炭素水素混合瓦斯に依る鐵鑛石の還元について	吉井 周雄 441
	外村 徳三 457
	北川 良也
反射顯微鏡による平爐鋼滓の研究(翻譯)	
<b>電氣化學</b> 第10卷第12號	
低品位マンガノ鑛石利用に關する研究(第1,2報)	鐵合金委員會 16
<b>技研</b> 第2卷第6號 昭和17年11月	
ニウカレドニヤ鑛石を原料とする海綿鐵製造に關する研究	藤原唯義・根守 侃 1
低合金高張力鋼に就て	菊池 浩介 16
軸受用鋼の壓壞試驗に對する材料力學的考察	柏原 方勝 27
鐵鋼中の炭素及び硫黃の同時迅速定量法	

高野重徳・高野琢郎	31	熔融鹽の分解電壓測定法に關する一考察	岡元 敬藏	19	
ドリルパイプの腐蝕疲勞 (IV) (翻譯)	柏原 方勝	39	<b>大日本窯業協會雜誌</b> 第 50 集 第 600 號	昭和 17 年 12 月	
<b>九州鑛山學會誌</b> 昭和 17 年 11 月			時局下窯業の使命	黒田 泰造	615
最近 3 ケ年間に於ける鑛造技術の進歩に就て			耐火物原料としての朝鮮産珪線石及び紅柱石に就て	{河合 幸三	631
	谷村 熙	477	耐酸坩堝の耐熱性 (第 2 報)	{篠原 武夫	638
<b>工業現勢</b> 第 11 卷 第 9 號 昭和 17 年 9 月			代用燃料としての亞炭	吉田 博	796
重要鑛山鑛産額	4		<b>鐵鋼統制</b> 第 2 卷 第 12 號 昭和 17 年 12 月		
主要國石炭生産額	5		鐵鋼増産の絶對的的使命	平生 夙三郎	3
本邦銅及鐵鋼生産高	5		統制會への職權委讓について	井上 尙一	6
主要國鐵鋼生産額	6		昭和 17 年に於ける當會業務の回顧	水津 利輔	11
銅鐵類及石炭輸出入高	16		鐵鋼原料プール價格制の設定に就いて	永野 重雄	16
<b>鑛工滿洲</b> 第 3 卷 第 12 號			鐵鑛石よりワナヂウムを回收する方法	垣内 富士雄	59
大東亞戰下に於ける滿洲國の鐵鋼業	島岡亮太郎	9	<b>金屬</b> 第 12 卷 第 12 號 昭和 17 年 12 月		
<b>工業化學雜誌</b> 第 45 編 第 11 册 第 537 號			物理冶金實驗法 (3)	岡村 俊彦	1045
鐵及び鋼中硫黃迅速定量分析法 (第 1~2 報)	{鹿島 次郎	1165	<b>全ハガネ商聯盟</b> 第 4 卷 第 11 號 昭和 17 年 12 月		
	{石原日出男		米國の特殊鋼原料問題	大賀與志次	4
<b>滿洲冶金學會會報</b> 第 4 卷 第 36 號 昭和 17 年 12 月					